

東京湾海況情報 R04-03

東京湾水質調査結果（令和4年6月）

（令和4年7月7日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 6/7-8 ふさなみ、関東・東海海況速報、自動観測ブイデータ

モニタリングポスト（国土交通省関東地方整備局，海上保安庁），東京都環境局

6月7-8日にふさなみで行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は、内湾で18～20℃，内房海域で19～20℃でした。表層塩分は、内湾で22～32，内房海域が31～34でした。内湾の東京都～神奈川県側で河川水の影響により，塩分が低下していました。一方，湾奥では6月7～8日に吹いた北東風による底層水の湧昇で表層が低温・高塩となっていました（図1，2）。

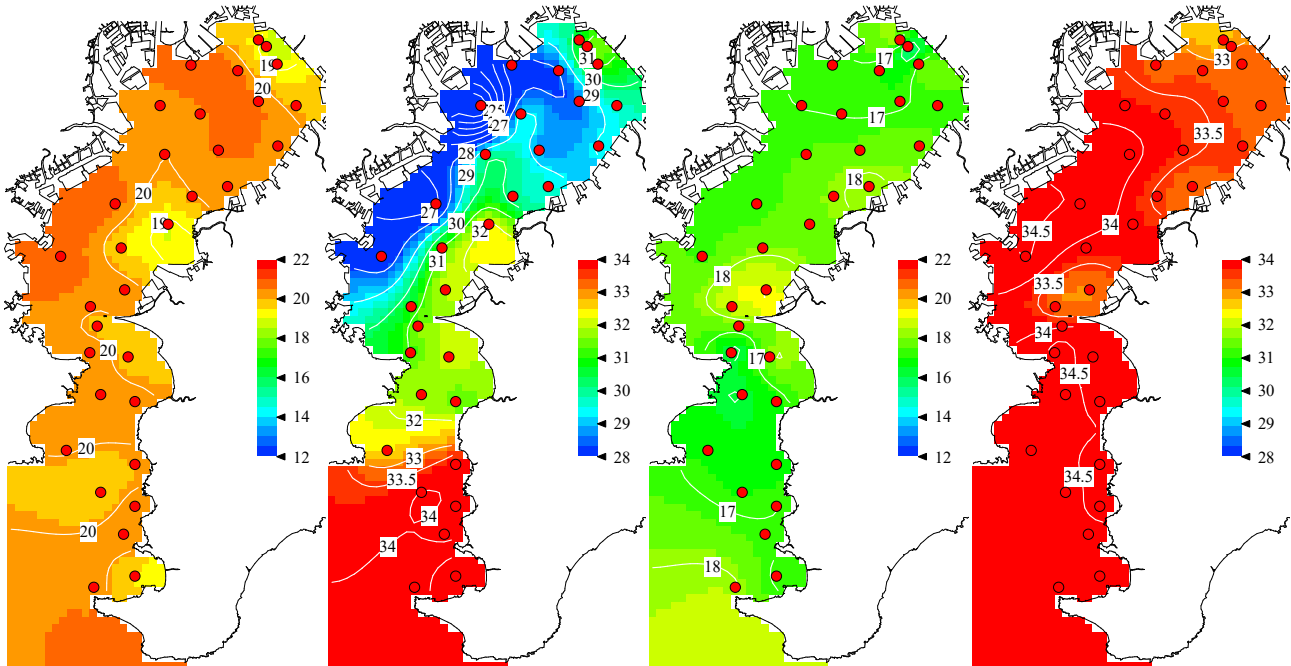
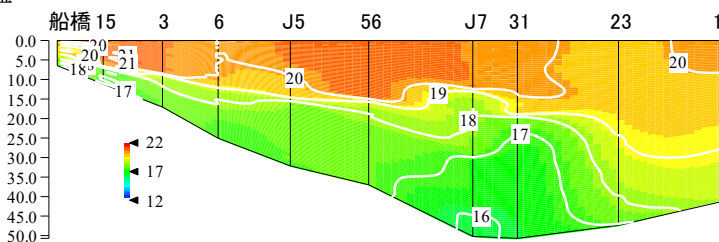


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

水温



塩分

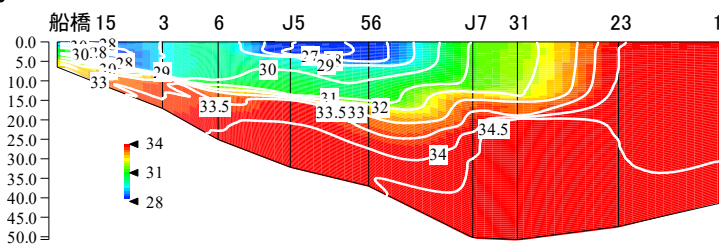


図3 縦断面の水温・塩分

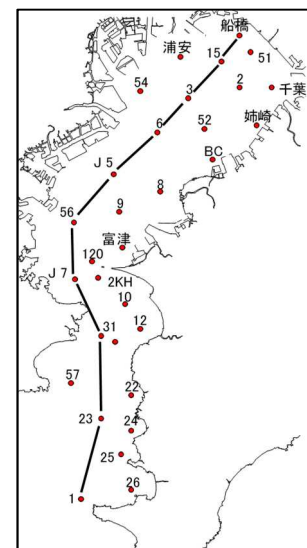


図4 水質調査点
（実線は調査ライン）

【赤潮】

透明度は、内湾で2.9～6.2m、内房海域で3.6～14.5mでした（図5）。

植物プランクトンの指標となるクロロフィルa濃度は、内湾で5 µg/L以下～11.4 µg/L、内房海域で5 µg/L以下～11.3 µg/Lでした（図6）。

赤潮はみられず、珪藻タラシオネマ属、渦鞭毛藻プロセントラム属などが優占していました。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150 % 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 µg/L 以上

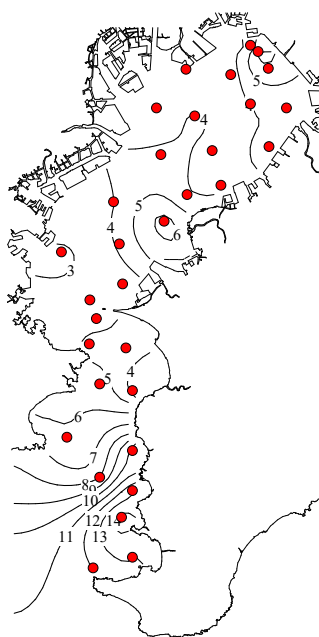


図5 透明度

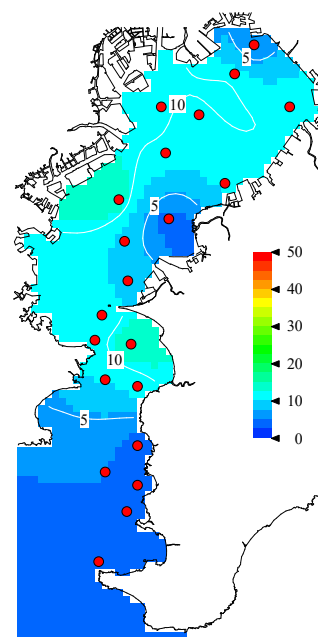


図6 クロロフィルa濃度

【貧酸素水塊】

底層の溶存酸素濃度（DO）は0.3～6ml/Lでした。北東風の影響で貧酸素水塊は北偏し、湾奥部（船橋港内、千葉港内）では青潮がみられました。（図7、8）

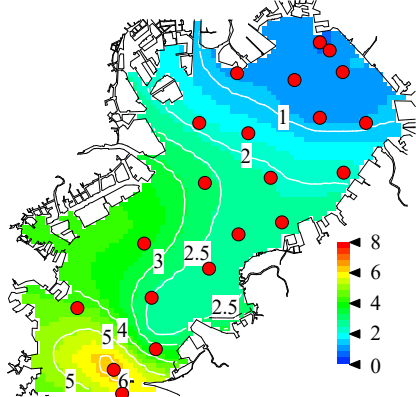


図7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

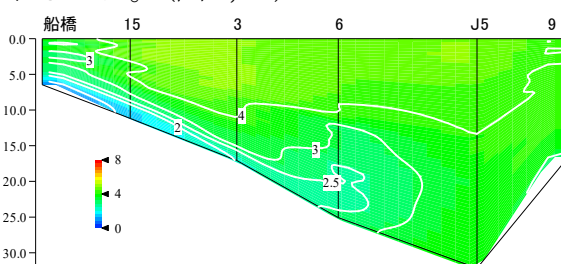


図8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

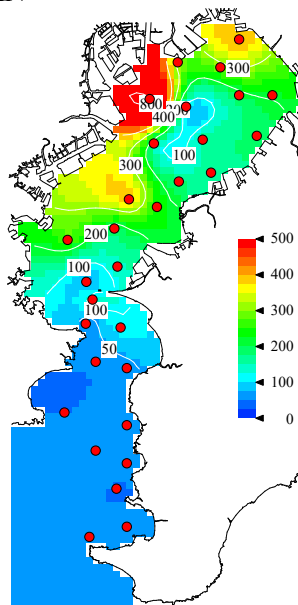
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50 % 以下

【栄養塩（図9）】

表層の窒素（DIN）は、内湾で45～819 µg/L、内房で22～128 µg/Lでした。表層のリン（DIP）は、内湾で5 µg/L以下～99 µg/L、内房で5 µg/L以下でした。

東京都～神奈川県側では河川水の影響により窒素とリンが、湾奥では底層水の湧昇により特にリンの濃度が高くなっていました。

DIN



DIP

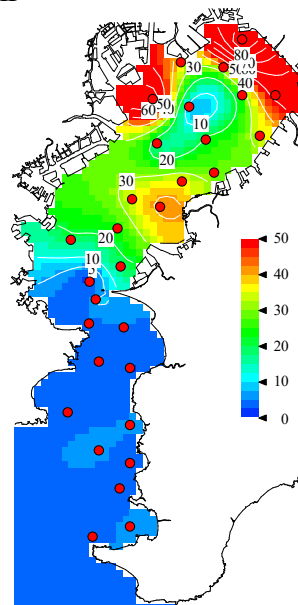


図9 表層の栄養塩濃度 (µg/L)

【黒潮】

黒潮はA型流路で東京湾口から離れて流れていました。東京湾への黒潮系水の影響はみられません(図10)。

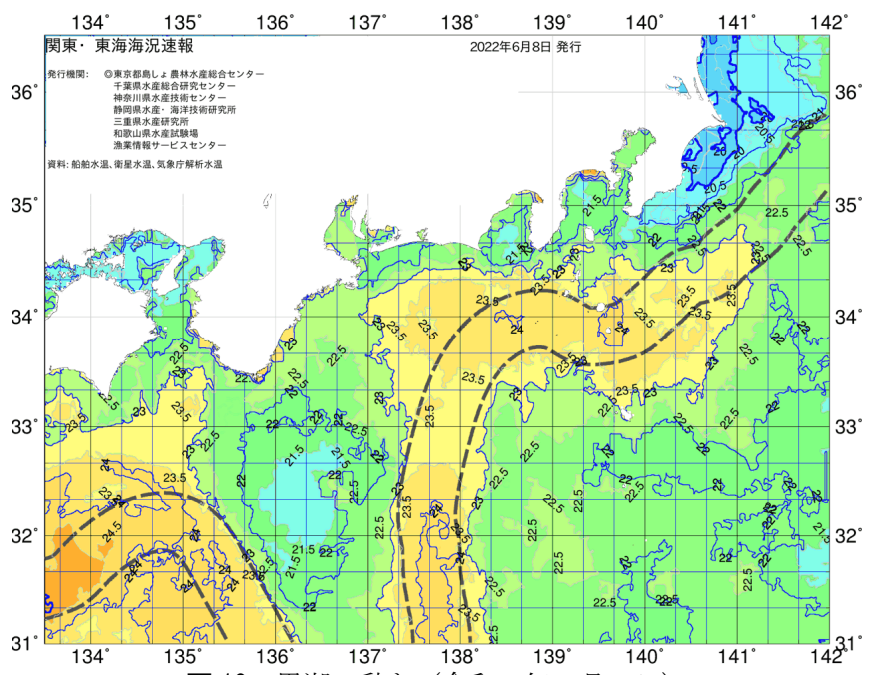


図10 黒潮の動き(令和4年6月8日)

表1 主な調査点の水質調査結果(表層、溶存酸素量の底層)

調査点		水温 (℃)	塩分	透明度 (m)	p H	溶存 酸素量 (ml/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	溶存無機態 窒素 (μg/L)	リン酸態 リン (μg/L)	クロロ フィルa (μg/L)
内 湾	船 橋	19.1	30.4	4.3	7.9	0.7	338.9	402.8	99.7	3.1
		(22.6)	(27.68)	(2.0)	(8.6)	(2.1)	(44.7)	(190.6)	(11.5)	
	st.15	20.6	27.8	3.4	8.2	0.8	123.1	268.1	33.2	9.4
		(22.3)	(28.1)	(2.6)	(8.7)	(1.5)	(48.5)	(167.4)	(12.8)	
	st.3	20.3	29.1	4.1	8.3	1.4	51.0	88.0	7.8	9.6
		(21.8)	(28.8)	(3.0)	(8.6)	(1.0)	(56.2)	(129.0)	(6.6)	
	st.6	20.0	29.7	4.2	8.2	2.6	90.8	136.6	15.0	9.5
		(21.5)	(29.2)	(3.7)	(8.5)	(2.3)	(57.4)	(263.7)	(10.5)	
	st.9	19.4	30.9	4.3	8.1	2.8	111.1	188.4	24.6	6.9
(21.8)		(31.0)	(3.7)	(8.5)	(3.3)	(20.4)	(54.3)	(4.6)		
内 房 海 域	st.BC (盤洲Cブイ)	20.2	29.4	4.0	8.3	2.1	92.1	141.3	27.0	8.7
		(22.2)	(30.0)	(3.7)	(8.5)	(3.0)	(30.5)	(112.4)	(8.0)	
	st.8 (盤洲A南)	18.9	32.1	6.2	7.9	2.5	157.1	229.2	41.3	1.8
		(21.7)	(30.9)	(3.2)	(8.5)	(2.7)	(21.7)	(66.5)	(5.6)	
	富 津	20.3	31.9	3.5		2.7	70.7	124.4	16.8	7.5
		(20.8)	(31.5)	(3.9)		(3.4)	(52.7)	(120.3)	(6.9)	
	st.2KH (第2海ほ下)	19.6	31.5	3.6		6.1	65.5	128.6	5.5	8.7
		(20.6)	(31.9)	(3.7)		(4.5)	(8.5)	(38.4)	(2.0)	
	st.31	20.3	31.6	5.5		4.1	16.5	30.6	1.1	8.2
(20.5)		(32.1)	(4.5)	(4.5)		(11.4)	(33.9)	(1.7)		
st.23	19.5	34.0	8.0	4.3		16.1	50.1	3.4	2.7	
	(21.0)	(33.3)	(8.2)	(4.7)		(6.8)	(13.6)	(0.8)		
st.1	20.3	34.3	12.0	4.6		21.6	39.2	1.6	0.7	
	(20.4)	(33.8)	(11.4)	(4.6)	(16.1)	(29.8)	(1.6)			
内 房 海 域	st.10 (下洲沖)	19.6	32.0	4.3	6.3	40.9	93.6	2.6	11.4	
		(20.8)	(32.1)	(4.0)	(5.1)	(8.2)	(29.7)	(1.3)		
	st.12 (湊沖)									
		st.22 (保田沖)	19.9	33.9	10.5	6.3	20.9	48.5	2.8	1.2
	(20.8)		(33.4)	(7.3)	(4.7)	(10.3)	(35.8)	(3.4)		
	st.24 (富山沖)	20.3	33.9	13.0	6.5	19.9	33.5	0.3	1.3	
		(20.6)	(33.7)	(8.3)	(4.8)	(6.9)	(9.5)	(0.3)		
	st.26 (館山湾内)	19.3	35.0	13.0	4.4	12.9	40.0	3.7		
		(20.8)	(33.8)	(9.1)	(4.7)	(3.2)	(6.3)	(0.6)		

注) ()内は最近10年間(2012～2021年)の平均値を示します
透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。